

第3期知床半島エゾシカ管理計画について

1 結果報告

(1) エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの開催経過

- 第1回：平成28年6月28日（木） 釧路
- 第2回：平成28年10月7日（金） 釧路
- 第3回：平成29年1月12日（木） 釧路

(2) 第3期知床半島エゾシカ管理計画（2017年～2022年）のポイント

- ・北海道が定める第二種特定鳥獣管理計画「北海道エゾシカ管理計画」の地域計画であることから、名称を「保護管理計画」から「管理計画」へ変更。また、「知床世界遺産地域管理計画」等と連携を図ることを明記。
- ・特に個体数調整を行っている地区において、植生の回復状況を追記。
- ・遺産地域で個体数調整を実施する地区については管理目標として、航空カウント調査におけるエゾシカ発見密度の数値目標を記載。（知床岬地区：5～10頭/km²以下、幌別－岩尾別地区：5頭/km²以下、ルサー相泊地区：5頭/km²以下）
なお、植生に関する数値目標については、植生に関するモニタリング結果や評価結果等を踏まえ検討を進めることとした。
- ・管理の主な評価項目として「植生」と「エゾシカ生息密度」を挙げ、それぞれ評価に関する考え方を記載。特に植生については、回復過程を表す指標種を設定し、簡易的な手法による指標調査を中心にモニタリングを実施し評価を行うこととした。

2 今後の予定

(1) 管理計画の改定

平成29年4月から運用を開始する。

(2) 管理計画の進め方

年に2回程度開催する「エゾシカ・ヒグマWG」において、科学的な評価及び助言を得ながら取組を進める。